

## 第14回沖縄県教育委員会会議（定例会）

- 1 日時      平成21年9月16日      15時10分～ 16時18分
- 2 場所      教育庁第一会議室
- 3 出席者

委員	<u>比嘉</u> 委員    (委員長) <u>鎌田</u> 委員 <u>東</u> 委員 <u>安次嶺</u> 委員 <u>中野</u> 委員 <u>金武</u> 委員    (教育長)	(欠席委員)
----	--	--------

教育庁	統括監等	教育管理統括監、教育指導統括監、参事
	課長及び 班 長 等	総務課長 財務課長 施設課長 福利課長 県立学校教育課長 義務教育課長 保健体育課長 生涯学習振興課長 文化課長 全国高校総体推進課総務企画班長
	職務のため 出席した者	(事務局) 総務課副参事兼総務班班長 総務班主査 義務教育課人事管理監

- 4 傍聴した者
- 記者2人 / その他1人

平成21年第14回県教育委員会会議(定例会)

開会 (15:10)

委員長	<p>それでは、ただ今から平成21年第14回県教育委員会会議定例会を開催します。</p> <p>はじめに会期の決定を行います。本日1日を予定しておりますが、よろしいでしょうか。</p>
各委員	異議なし。
委員長	<p>それでは、このとおり決定します。</p> <p>次に、前回会議録の承認を行います。鎌田委員お願いします。</p>
鎌田委員	正確に記載されております。
委員長	正確に記載されているということですが、承認してよろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
委員長	<p>それでは、このとおり決定します。</p> <p>今回の会議録署名人は、東委員にお願いします。</p>
東委員	はい。
委員長	次に教育長報告をお願いします。
教育長	(教育長報告を行う)
委員長	では、御質疑ございますか。
安次嶺委員	危険建物について。昭和56年以前の老朽化した建物ということだが、この中には海洋博前後のものもあるのではないかと思う。先日、県内で大規模な崩落があつて住めないという建物のニュースがあつた。それほどではないとしても、学校では、壁が崩落しかかっているとか、子ども達を通るベランダの下で危ない箇所等があるのではないかと思う。緊急に対策を講じなければいけないような箇所の有無に関して、各学校では安全管理の上で現状を把握しているのか。
教育長	昭和56年は、建築基準法が改正され、新耐震基準が施行された年となっております。それ以前の建築物を対象に耐震化の対策にあつております。そうした学校については、逐次、関係課が赴いて適切に対応しております。詳細を施設課長に説明させます。
施設課長	昭和56年以前の建物が、小中学校、高等学校、特別支援学校を含めて、現在約85万㎡ございます。これらは旧耐震基準で建設されており、一部に亀裂のあるものもあり、学校で安全確認をしながら注視し、必要に応じてネットを張る等の対策をしております。老朽化の激しいところを優先的に改修している状況でございます。
東委員	対前年度比率が28.7%増となっている。緊急経済対策や政界の激変の

	<p>中で非常に増加率が高い。こういうときこそ有効に建物の改築等をどんどん進めてほしいと思う。これによって、何%くらいが改修できるのか。それと同時に、資料3には「等」とあるので、なるべく予算は緊急性のあるところに、ひとつの壁でも、小さい学校でも、回していくようにしてほしい。せつかくの予算なので、多い分、有効に使ってほしい。</p>
施設課長	<p>改築にかかる分の予算が100億円ほどとなっており、5万から6万㎡の改築ができるという状況でございます。今回の予算の改築は、委員がおっしゃるような壁の改修等ではなく、建て替えを目的としたものとなっております。</p>
安次嶺委員	<p>大きくて金がかかるところをしっかりと建て替えるというのはいいが、少し手直ししなければいけないというところもあると思う。そういうところをしっかりと把握して安全管理をしてほしい。</p>
施設課	<p>今回の予算は、内閣府の一括計上で補助事業で行うものです。ご指摘の危険箇所の改修等については、別途、県や市町村の単独事業として行っております。</p>
教育長	<p>小規模な改修等については、独自に予算をつけて対応し、大きな建て替えや改築等の場合には国の予算でということになります。亀裂がある等の改修については、予算の範囲内で随時対応しております。</p>
委員長	<p>先日、真和志中学校を視察したが、かなり老朽化して壁が剥がれている箇所を補強している状況等が見られた。市町村や県の予算で対応することだが、危険な状況にある施設や箇所について、どのくらい要望が上がっていて、予算内でどのくらい対応できているのか、なるべく修復率が高まるようにということを皆で見えていくためにも資料がほしい。</p>
施設課長	<p>平成22年度の要求については市町村からの要求をそのまま乗せております。平成21年度までの予算については前年度並みとなっております。</p>
中野委員	<p>2009沖縄伝統空手道世界大会について。盛況に実施され、総評にもあるように目的は達成されたということで良かったと思う。</p> <p>少しだけ希望を述べたい。開会式の演武の最中に子供達が出たり入ったりしている様子を見て、「世界大会なんだよなあ。」と寂しく感じた。もっと指導できなかつたのかと思う。中にはぴしゃっとやっている流派もあったので嬉しかった。一方の流派はできていたのに、他の流派ではなぜできなかつたかと思う。沖縄県の伝統空手を世界にピーアールするわけだから、沖縄県民として、礼儀正しさも、個人の良さも、集団の良さも見せたかったというのが私の私的な評価。世界大会の名にふさわしい大会であってほしいということ。</p>

	<p>また、次年度のインターハイも気になっている。準備は順調に進んでいるのかどうか。以前も言ったが、他県に誇れるような、沖縄は金はないけどすばらしい大会ができたなと感じてもらえるような大会にしてほしいと強く感じている。参加者を精神的に満足させるような大会にしてほしい。</p> <p>空手道世界大会があったから、ということがないように、限られた予算の中でも、次年度、立派なインターハイができれば最高だと思う。</p>
委員長	<p>ほかに御質疑はございませんか。</p> <p>(しばし間があり)</p> <p>それでは議事に入ります。</p> <p>本日の議題は、議案が8件となっております。なお、議案第3号から第8号は、文化財の指定案件、文化財保持者の追加認定案件及び人事案件となっておりますので、非公開としたいと思っておりますがよろしいでしょうか。</p>
各委員	はい。
委員長	<p>では、このとおり決定します。</p> <p>それでは、議案第1号の説明をお願いします。</p>
総務課長	(議案について説明)
委員長	では、御質疑ございますか。
各委員	特になし。
委員長	では、このとおり決定してよろしいでしょうか。
各委員	はい。
委員長	<p>では、このとおり決定します。</p> <p>次に、議案第2号の説明をお願いします。</p>
財務課長	(議案について説明)
委員長	では、御質疑ございますか。
東委員	太陽光発電システムについて。いろいろなところでエコということで導入されている。これはいったん予算化してこれから入札を実施するというのでよいか。
財務課長	はい。
東委員	まだ新しいものなので、なかなか妥当な金額がわからない。予算があるからといって、実験台にならないように気をつけてほしい。
財務課長	はい。財務規則等にのっとり、適切な手続で執行したいと思います。
東委員	電子黒板というのは聞き慣れないが、50型のテレビというのは意外に

	小さい。黒板には程遠いサイズではないかと思う。DVDを見るのには十分だと思うが、「生徒の知的好奇心を刺激して…」云々といった宣伝文句に乗せられないようにしてほしい。
財務課長	はい。今回の補正関係で、市町村でも先行的に電子黒板を導入しておりますので、県立でも1箇所は導入してみて、教育効果も検証してみようと考えております。
東委員	せっかくの補正予算なので、有効に使ってほしい。
鎌田委員	これは今回をテストケースとして、次年度他の学校にも導入するために予算を組む予定か。
財務課長	今回は補正予算で特別に財源があって予算が組めたということもあります。今回は中学校1台のみですが、今後、高等学校に導入するかどうかについては議論があるかと思いますが、特別支援学校に導入していくかどうかにつきましては、限られた通常の予算の中でどうするかという議論になると思われまます。予算が増えるというわけではございません。
安次嶺委員	電子黒板とはなにか。
財務課長	画面に表示しながら直接画面に書き込みができたり、モニターを直接操作できたりと、普通のプロジェクターとは異なり、いろいろな機能がある機器です。
東委員	いかんせん、画面サイズが小さい。通常のプロジェクターの方が現実的ではあると思う。黒板に代わるという意味では、後ろの人も見える。明るい出力のあるプロジェクターの方が価格も安く、パソコンとの接続も容易で現実的ではないかと思う。
鎌田委員	使いこなせる教員はいるのか。
財務課長	これから導入しますので、導入後に操作に慣れていくということになると思います。
安次嶺委員	これは、国が電子黒板なるものを、お金を出すから中学校に配備しなさいと言ってくるのか。
財務課長	そういうものも進めてもらえないかという話がありました。文部科学省から、電子黒板を導入した学校とそうでない学校とでは、生徒の発言機会、回数等に違いが出ているということで、こういうものを活用して新しい教育の仕方をしてみてはどうかという提案があったようです。これを導入したから確実に効果が上がるということではないかと思われまます。こういうものも推奨してみてもどうか、という話があって、ひとつ導入してみようということになっております。
安次嶺委員	この電子黒板のメーカーはどういったところがあるのか。
財務課長	どういったメーカーがあるのかについては把握しておりません。

安次嶺委員	特定のメーカーなのか、あるいは競争が働くのか。
財務課長	単独メーカーではないようです。
委員長	<p>本当にこれが必要か、実際に活用できるかの検討を含めて、予算があるから、推薦されているからではなく、妥当性をしっかりと見極めて子ども達の授業に良い形で活用できるようにしてほしい。</p> <p>事業の性質上、しぼりがあるかもしれないが、先ほどの施設老朽化問題の増改築や新築等、もっと優先されてもいいのではないかと思う部分を残しながら新しい取組等もあったりする。この辺の矛盾の解消や優先順位をつけた事業実施をお願いしたい。</p> <p>では、このとおり決定してよろしいでしょうか。</p>
各委員	はい。
委員長	<p>では、このとおり決定します。</p> <p>休憩します。</p> <p>(以下は非公開部分のため省略します)</p>